

多摩都市計画道路3・1・6号 南多摩尾根幹線
道路改修工事（鶴牧） 説明会（オープンハウス形式）
令和8年7月11日（土）午後1時～午後5時 トムハウス 1階ホール
来場者44名

説明会における、来場者からの主なご質問と回答について

【道路形状や運用に関すること】

Q1. 鶴乃橋付近の道路形状はどのように変わるのか？

鶴乃橋付近の上下線を横断する道路は、本工事終了後、廃止となります。また、本工事で新たに整備する車道（以下、「本線」という）にUターン路を設置します。（※説明会資料をご参照ください。）

Q2. 一部区間に副道とあるが現況の道路が残るのか？

高低差のある擁壁区間では、本線が現状の南側道路と同様の高さとなるため、支道を継続して利用できるよう接続している現況の北側道路を副道として整備します。

なお、本工事終了後、副道及び歩道整備（電線共同溝含む）を行い最終的な完成となる予定です。

Q3. 本線と副道はどのように接続するのか？

本工事終了時と最終的な完成時で接続位置は異なりますが、Y字橋付近で本線から副道へ分岐し、鶴乃橋付近で副道から本線へ合流する形状となります。（※説明会資料をご参照ください。）

なお、本工事終了後、副道及び歩道整備（電線共同溝含む）を行い最終的な完成となる予定です。

Q4. バス停の位置は変わるのか？

概ねの位置は変わりません。多摩市総合福祉センター、Y字橋及び鶴乃橋にあるバス停は本工事により本線に整備します。

Q5. 多摩鶴牧六丁目交差点はどのように変わるのか？

本工事により交差点がコンパクトになり、これまで右折時などにおける信号の2段階停車が解消されるほか、横断歩道の距離が短くなることで、歩行者の安全性も確保されます。

（※説明会資料をご参照ください。）

Q6. 自転車はどこを通るのか？

歩道部に自転車通行空間を整備し、自転車と歩行者を分離することで、安全性の確保を図る予定です。また、本線車道部左側端（路肩部）に 2.0m 幅を確保し、高速自転車（ロードバイク）に配慮した構造とする予定です。

【振動、騒音に関すること】

Q7. 前回工事で振動があったが、今回の工事でも振動があるのか？

前回の工事と比較し、本工事の施工内容及び使用する機械から、振動の大きさや発生期間は抑制されるものと想定しております。ご迷惑をおかけする場合がございますが、周辺環境への影響を最小限に抑えるよう、細心の注意を払い工事を進めてまいります。

Q8. 道路完成後の騒音対策は実施されるのか？

騒音対策として本線は、交通騒音を抑制する舗装構造（低騒音舗装）を採用します。また、環境影響評価に基づき騒音対策が必要となる箇所は、今後の歩道整備と併せ遮音壁を設置する予定です。

Q9. 夜間工事を行うのはなぜか？

道路敷地中央部（現況の上下線に挟まれた中央分離帯）の施工は昼間に実施しますが、主に交差点付近において現況の車道を交通規制する場合に限り、交通量の少ない夜間に施工を行う予定です。

【時期に関すること】

Q10. 今回の工事完了時期はいつか？

本工事の完了は、令和 11 年 1 月を予定しています。
なお、本工事終了後、副道及び歩道整備（電線共同溝含む）を行い最終的な完成となる予定です。

Q11. 今回の工事で現況の道路から本線へ交通切り替えを行う時期はいつか？

令和 10 年下半期を予定しておりますが、工事の進捗や交通管理者（警視庁）との調整などにより、切り替えを行う時期を決定します。切り替えを行う際には、お知らせビラにより周知させていただきます。